

## 清水寺平清盛供養塔



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	せいすいじたいらのきよもりくようとう
所在地	吉備中央町湯山
指定年月日	昭和30年7月19日
解説	銘文はないが、様式から見て鎌倉時代後期から南北朝時代の作と推定される。花崗岩製。総高2.6m。塔身正面に大日如来坐像を刻み出している。この供養塔のある清水寺の由緒書によれば、平清盛が大檀那となって伽藍が造営されたといい、この供養塔はその清盛の供養塔と伝えられている。
アクセス方法	賀陽ICから車で約10分
公開状況	外観のみ
設備	駐車場 
備考	